

森林整備や保全 県に102万円寄付

3社がふるさと振興金

県は、森林整備や環境保全を目的とした「ふるさとぎふ振興寄付金」として102万5736円を寄せたバローホールディングス(本部・多治見市)、サントリー(東京都)、サントリーフーズ(同)に知事感謝状を贈った。

県と3社は2015年1月に森林・環境保全に向けた包括協定を締結。3社は協定に基づき、バローグル

ープのスーパー、ドラッグストア、ホームセンターの各店舗でサントリーグループの対象商品の販売1点につき1円を寄付することになっている。今回は12回目の



感謝状を受け取った3社の代表者ら
＝岐阜市宇佐、県図書館

寄付で、今年2月の1カ月間の販売分。累計寄付金額は1037万7864円となった。

岐阜市宇佐の県図書館で開かれた「第10回緑豊かな清流の国ぎふづくり県民フォーラム」内で贈呈式があり、県の高井峰好林政部長が感謝状を贈呈。バロー販売促進部の津川香名部長代理、サントリー東海広域支社の江原直志支社長、サントリーフーズ東海・北陸第一支社量販営業一部の平野淳部長が、各社を代表して受け取った。(山本貴史)